

教員名	野々口 ちとせ (NONOGUCHI Chitose)
所属	文教育学部言語文化学科日本語教育講座
学位	修士 (人文科学)
職名	講師
URL/E-mail	http://jsl2.li.ocha.ac.jp/index.html / nonoguchi.chitose@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

多言語多文化共生社会 / 日本語教育 / グローバル・リテラシー / 日本語非母語話者 / 日本語母語話者

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・野々口ちとせ「学ぶことがらをどこに見出すか-ある地域の日本語教室の談話分析から-」『共生時代を生きる日本語教育-上野千鶴子先生古稀記念論集-』凡人社 311-325.
- ・金珍淑・野々口ちとせ「多言語多文化教室における参加者の談話分析・非対称な力関係を示す発話行為を中心に-」平成 16 年度科学研究費補助金研究基盤研究 B(2)研究成果中間報告書『多言語多文化社会を切り開く日本語教育と教員養成に関する研究』研究代表者：岡崎眸. 66-80.
- ・張瑜珊・OHRI Richa・高橋悦子・野々口ちとせ「地域住民による「相互学習」を実現するための教室設計-ある地域の日本語教室における参加者現象問題への対応の過程から見えること-」平成 16 年度科学研究費補助金研究基盤研究 B(2)研究成果中間報告書『多言語多文化社会を切り開く日本語教育と教員養成に関する研究』研究代表者：岡崎眸. 81-96.

◆研究内容

- 1) 地域の日本語教育に関する研究
教室を形づくる「決まりごと」や、コースデザイン・活動デザインの計画書、教室談話、活動記録などを採集し、その教育実践を分析している。
- 2) 多言語多文化共生を目指す日本語教育実習を対象とした研究
本学大学院日本語教育コースで実施している教育実習で、アンケート調査を行ったり、談話データを収集したりして、実習生の学びや、参加者の意識変容に関する分析と考察を行っている。

◆教育内容

- 日本語教員養成における入門期の教育と、留学生に対する日本語教育を担当している。
- <日本語教員養成における入門期の教育>
- 1) 日本語教育学：教材や学習活動の分析を通して、外国語として日本語を学び、使うとはどういうことなのかを考える。また、日本語学習者が直面する心理的・社会的な問題についても検討する。
 - 2) 日本語学：身近な日本語にひそむ力関係や社会・文化との結びつきに注目し、ことばを多角的に分析する力を養う。日本語学の中で社会言語学的な分野を中心に扱い、分析と考察を行う。
- <学部留学生に対する日本語教育>
- 留学生が大学での研究生活を円滑に進めるために必要な日本語教育を行っている。特に、ペアワークやグループワーク、ディスカッションなど仲間とともに行う活動を通して、レジュメを作って発表したり、レポートを作成する力を伸ばすことを目指している。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・日本語非母語話者と日本語母語話者の相互学習
- ・多言語多文化共生を目指す教育実習における実習生の学び

◆受験生等へのメッセージ

日本語教育基礎コースでは、日本語教育に関する基礎知識を学びますが、日本語教員を志望する人だけのコースではありません。グローバル化が進む現代、言語や文化が異なる人々と共に生きる時代に必要な「リテラシー」について考えるコースでもあります。言語や文化や自分の持つ枠組みを振り返り、他の異なる枠組みとぶつかったときに、新たな枠組みをどう創り上げるかを、一緒に考え話し合う授業をつくっていきたいと思っています。